

雪量観測装置保守点検仕様書

(総則)

第1条 この仕様書は、雪量観測装置保守点検委託に適用する。

(業務の目的)

第2条 本業務は、雪量観測装置の正常な運転を確保するため、機器が正常な状態で使用できるように保守点検を行うことを目的とする。

(業務の内容)

第3条 業務の内容は以下のとおりとする。

- (1) 雪量観測装置の点検・整備（補正）を別紙保守点検項目に基づき行う。
 - ・電源の確認
 - ①オートリセットブレーカの稼動確認
 - ②主電源電圧等確認
 - ・積雪深計の確認
 - ①観測環境の確認
 - ②擬似データによる取得データの確認
 - ・気温計の確認
 - ①擬似データによる取得データの確認
 - ・凍結計の確認
 - ①擬似データによる取得データの確認
 - ・降雪計の確認
 - ①擬似データによる取得データの確認
 - ・外観の点検
 - ①センサー外観の確認
 - ②収容箱内外の外観確認
- (2) 県庁サーバとの通信試験を行う。
 - ・県庁サーバ保守業者立会いのもと、観測データを取得できるかの確認
- (3) 点検・整備が終了した後、契約工期内に雪量観測装置に異常が発生した場合は、再度、点検整備を行う。
- (4) (1)、(2)の結果により不具合があった場合は、雪量観測装置の調整を行う。ただし、県庁サーバの調整は本業務に含まない。
- (5) 部品の交換が必要な修繕は、本業務に含まない。

(履行の期限)

第4条 雪量観測装置を毎年12月1日から運用開始するため、第3条(1)の点検を11月上旬までに、第3条(2)の通信試験を11月中旬～下旬に実施するものとする。
なお、通信試験の詳細な日程は協議により決定するものとする。

(保守契約の除外)

第5条 天災、地変、その他受注者の責めに帰すことの出来ない事由により生じた故障の修理については契約の対象外とする。

(疑義)

第6条 この仕様書に定めのない事項またはこの仕様書について疑義が生じた事項については、必要に応じて協議して定める。

(別紙)

保守点検項目

項番	大項目	中項目	小項目
1	環境状況チェック	障害物等が無いかな	
2		観測点整地状況	草刈等、清掃作業
3	機器チェック	積雪深計	0cm
4			50cm
5			100cm
6			500cm
7		温度計	-10℃
8			0℃
9			+10℃
10			+40℃
11		凍結計	湿潤検知判定レベル
12			車両検知判定レベル
13			積雪判定レベル
14			受光出力電圧
15			路面状況出力
16		降雪検知計	検知出力レベル
17		通信制御装置	通信機能確認
18			計測項目確認
19			外観
20		避雷ユニット	外観
21		局舎	外観
22		通信機	外観
23			通信状況確認
24	電圧等の測定		100V±10%以内
25	総合試験		